

第7回 e-learning コンテンツ作成 WG 議事録（確定）

日 時 : 令和5年12月13日(水) 10:00~11:15
形 式 : ハイブリッド会議(現地+Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館 1F C 会議室(ホスト会場)
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. e-learning コンテンツ 進捗状況の確認

1) 視聴による確認について

(株)カビネットより、e-learning コンテンツの進捗状況について説明があった。第4章及び第6章のアニメーションとナレーションを入れた内容を確認した。

終了後、各章担当の先生方からの質問に対して、(株)カビネットより説明がなされた。

提示された原稿について、アニメーションの動きを確認しながらナレーション原稿の作成と全体を確認したいとの要望については、制作担当側ではナレーション原稿にアニメーションを合わせる作業をしている。ナレーションにアニメーションを合わせないと、不自然な動きになったり、やり直しになってしまう場合が生じるので、まずは、ナレーション原稿を先にご提示いただきたいとの説明であった。

また、タイトになっているページ部分(1頁内に入れ込んだり、纏めて作りこんだ内容)があるが、全体では余裕があることから、再度確認いただきたいとのお願いがあった。なお、PDFにて送信するので、急ぎで確認の上、整理していただきたいとのことであった。

説明及び回答後の主な意見

- ・ビッグデータ部分は、大丈夫だと思うが、全体の流れを再度確認したい。
- ・修正点があれば朱書きでお願いしたい。
- ・できれば、動画データを提示いただければわかりやすいかどうか。
- ・動画データに修正し送る。
- ・第6章はリンクで確認できるので問題ない。

2) 第1章から第5章について確認

① 第1章

- ・纏め部分はいかがか。
- ・原稿がそろった段階で纏めを作成するかどうか。
- ・揃ったところで、対応することでよいか。
- ・再度確認しコメントを提示するがよろしいか。

- ・ナレーション原稿の用意はいかがか。

- ・ナレーション原稿を考えていただきたい。よろしいか。
- ・全体を確認した中で、再度修正するのでよろしく。
- ・病院薬剤師に特化した部分を補正する。また、ナレーション原稿は考えていただきたい。
- ・情報関連の原稿には図が多く、ナレーションが少ない状態である。図が多すぎていると視聴する流れとナレーションが合わない状態となるがいかがか。(特に 13、14、19、21 の各頁)
- ・全体を再度確認し連絡するがよろしいか。

②第2章

- ・ナレーション原稿の作成する予定はあるか。
- ・ナレーション原稿を作成するので、来週になるがよろしいか。

③第3章

- ・修正原稿をいただいて、修正中である。出来上がったら PDF で提示するので、確認ください。
- ・ナレーション原稿はいかがか。
- ・スライド内容からナレーションを作成いただき、それを確認し修正したいがよろしいか。
- ・動画データで送りますので、確認いただきたいがよろしいか。

④第5章

- ・ナレーション原稿を先に提示いただけないかどうか。
- ・スライド内容をナレーションにしていいただきたい。それを確認し修正したいのでよろしく。
- ・7、8 のページが詰まった状態なので、ページデザインを検討するので、確認いただきたい。
- ・音声を調えた後、データで確認ください。

3)キービジュアルについて

木下委員長より、この場でキービジュアルを決めたいとの発言があり、了承された。なお、全ての章で同じキービジュアルにする必要はないことも確認された。

- (株)カビネットが用意したパターンについて説明をいただき確認した。

※複数のキービジュアルを使用することはできない。

- ・決まらない場合は、先生方のイメージを提示いただき、近い内容で探すことができるかどうか。
- ・赤十字社の十字マークを取ることも可能であるがいかがか。

○意見交換の結果、殆どのキービジュアルが決まることとなった。

4)第1章の4部分について

木下委員長より、教育コンテンツ作成 WG で担当の内容を含めるのかとの発言があった。

本間代表から、現在作成中の教材の全体像は、教育コンテンツ作成 WG の作成部分が本会議の e-learning 教材の部分に繋がって作成されているが、それぞれの内容が全く異なるので、最終的には分けて配信するのかと個人的には考えていたとの発言があった。

この点について、二つのコンテンツを分けて配信すること。大学が二つのアカウント持つこと。アカウントの管理面で問題ないか。コース別(階層を分ける。)にできるか等々について質問がな

された。また、コンテンツ毎に課金する場合は、大学に一つのアカウントで可能とはならないか等の質問であった。

種々意見交換の結果、3月末までに配信するコンテンツ内容と4月以降に課金するコンテンツ内容を分けて考えることとし、課金方法については、早い時期に検討を進める必要があることで意見が一致した。

これにより、本WGで担当する第1章から第6章までが確定されることから、纏め部分の作業を開始できると確認できた。

なお、(株)カビネットには、本WGの意見を踏まえ、①二つのWGで作成しているコンテンツを分けて配信が可能か。②複数の階層を設置できるか。③ログ等の把握は可能か。④次年度以降の課金システムの構築や配信方法を踏まえた事柄に要する時間や費用について、早急に検討していただくこととなった。

2. 2023年度東京医科歯科大学医療系データサイエンス教育ワークショップについて

木下委員長より、来年2月に東京医科歯科大学でワークショップが本ライン開催される情報をいただいたので、情報共有するとの説明であった。

3. その他

1)教育コンテンツ作成WGの状況

本間代表より、教育コンテンツ作成WGでの作業の進捗状況の説明外があった。学生は動画を視聴し、その後アクティブラーニングを行う形式を検討している。また、教材資料として、多職種からの意見として、医師、歯科医師、看護師へのインタビューにより多職種から意見も資料としてコンテンツに入れる方向である。

また、作業内容を確認したところ、全体でも余裕がある状況と見受けられるが、(株)カビネットにも現段階の全体状況を確認いただくこととなった。

2)次回は、1月17日(水)第8回でハイブリッド開催予定

別記 1 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 7 回 (12 月 13 日開催)

構成員氏名	所 属	出欠席	備 考 欄
木下 淳	兵庫医科大学薬学部臨床薬学分野	Web	
今井 志乃ぶ	昭和大学薬学部門薬剤疫学部門	Web	
近藤 悠希	熊本大学大学院生命科学研究部 臨床薬理学分野	Web	
酒井 隆全	名城大学薬学部医薬品情報学研究室	Web	
出口 芳春	帝京大学薬学部薬物動態学研究室	Web	
原口 亨	公益社団法人日本薬剤師会	Web	
細谷 治	日本赤十字社医療センター薬剤部	Web	
松野 純男	近畿大学薬学部医療薬学科	Web	
本間 浩	一般社団法人薬学教育協議会	Web	
オブザーバー	文部科学省高等教育局医学教育課		
e-learning コンテンツ作成業者 ○株式会社ホサカ ○株式会社カビネット 現地参加			

別記 2 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 7 回（12 月 13 日開催）

<配付資料>

- 2023 年度東京医科歯科大学医療系データサイエンス教育ワークショップ案内

<視聴内容>

- e ラーニング教材として仕上げた 1 タイトルを確認（メイクアップ、ナレーション）